

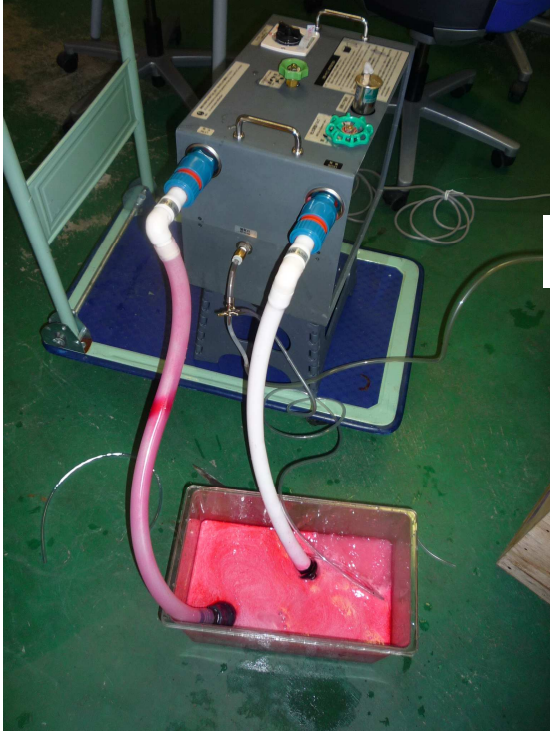
1. レッドチェック液のオゾンバブリングによる分解浄化試験実施報告

実施日：平成 22 年 4 月 12 日午後 3 時～7 時

実施場所：(株)アスプ実験室 実施者：(株)アスプ 高橋

使用機器：アスプ製超微細気泡発生装置 ASK3（毎分 7～10 リットル循環）、アクエア製 OS1000（無声放電式、連続 4000ppm 以上発生）

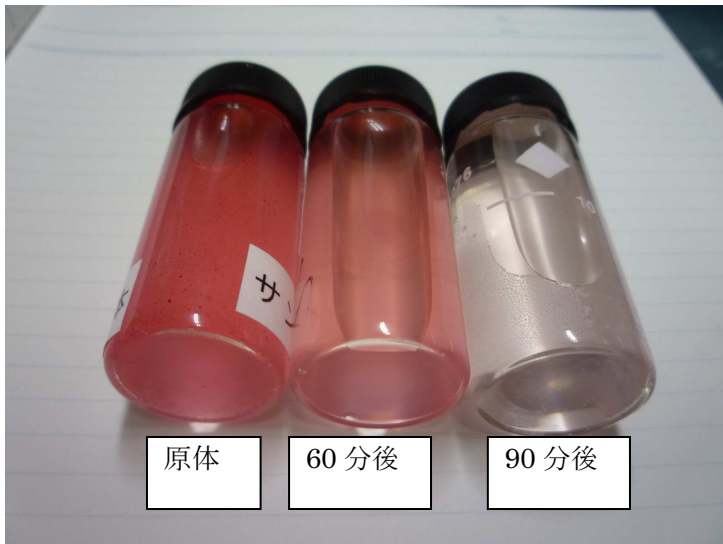
試験方法：水槽へ 7 リットルの水道水を用意し、適量（30cc）添加し、軽く攪拌したレッドチェック溶液を製作し、下記写真の通り、オゾン NB を循環して、60 分後および 90 分後にサブリングを行った。



60 分後の運転中の状況：左の開始直後の状況と比べ赤が薄くなっている。



90 分後運転停止後、5 分経過した状況：やや薄いピンクの透明な液体となった。水温は常温から 45℃まで上昇した。



所感：開始から 60 分の時点で目視での変化をはっきりと確認できるようになり、その後急激に色が薄くなりました。ある程度の臨界点を超えると一気に分解が進むような印象があります。実際の現場では、水中に油分やスラッジなど混入していれば、オゾン反応を阻害する要因になりますが、その分も勘案しましても、十分な効果を発揮できると確信いたしました。

アスプ 高橋